

《 競 技 注 意 事 項 》

1 本大会は、2024年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習及びウォーミングアップについて

ウォーミングアップは、下記のとおり係員の指示によって行うこと。

- (1) ウォーミングアップは、「練習会場の使用日程およびレーン区分について」のとおりとする。
- (2) 特に投てき練習は、使用日程に基づき事故防止に万全を期すこと。

3 招集について

(1) 招集所は、室内走路北側付近に設ける。

(2) 招集の方法

- ① 招集完了時刻の5分前までに、招集所に待機し点呼を受けること。
- ② トラック種目出場者は腰部のナンバーシールを受け取ること。（4×100mRは第4走者、4×400mRは第2・3・4走者）1500m以上の長距離種目については、胸部のシールも受け取ること。
- ③ 招集所内のベンチで待機し、点呼とユニフォーム、ナンバーカード、スパイクピンの長さ、靴底の厚さ及びシャツ・パンツ等の商標の点検を受ける。
- ④ 多種目同時に出場する競技者は、本人又は代理人が「多種目同時出場届」（招集所に準備）に記入し、招集完了時刻までに招集所に提出する。また、チェックはすべての種目で行うこと。
- ⑤ リレー競技に出場するチームは、各ラウンド第1組の招集完了時刻の1時間前までに所定のオーダー用紙（招集所に準備）に必要事項を記入し、招集所に提出する。（予選では1チーム4枚・提出時に3枚返却）予選後、メンバー及びオーダー変更の有無にかかわらず、返却されたオーダー用紙で手続きをする。
- ⑥ 出場種目を棄権する場合は、棄権届け用紙（招集所に準備）に記入し招集完了時刻までに招集所に提出する。リレー種目については、リレーオーダー用紙提出時刻までとする。
- ⑦ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。
- ⑧ 規定の厚さ以上のシューズを履いて競技に参加することはできないので注意すること。
- ⑨ 携帯電話および通信機能を有する機器の持ち込みは禁止する。
- ⑩ 商標の点検は自ら行い、競技場内で係から指摘を受けることのないようにすること。
13その他（2）を参照する。
- ⑪ 招集完了時刻は、次のとおりとする。ただし、トラック競技においては組数によって完了時刻が変わる場合がある。

種 別	招集完了時刻		
ト ラ ッ ク 競 技	20分前		
走高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・ 円盤投・ハンマー投・やり投	50分前		
棒高跳	男子：90分前・女子：60分前		
混成競技	第一種目	トラック：20分前 フィールド：30分前	
	第二種目	トラック	15分前
	以降	フィールド	30分前

混成競技において、第1日、第2日ともに第1種目は招集所でチェックを行うが、それ以降の種目については、混成競技控場所（メインスタンド1階100mスタート側）で招集完了時刻までに点呼・確認を受ける。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各自の登録ナンバーを胸部と背部に付けること。
ただし、跳躍種目の競技者は胸部又は背部の片方だけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードをパンツの右横や後方に付けること。また、1500m以上の競技については、周回確認用のレーンナンバーカードも胸部に付けること。これらは、招集所に準備する。
- (3) 4×100mRの第4走者、4×400mRの2・3・4走者は、腰ナンバーカードをパンツの右横や後方に付けること。

5 競技場への入退場について

- (1) トラック競技
 - ① 競技場への入場は、100m スタート側およびゴール側の門から行う。
 - ② トラック競技者は、フィニッシュライン到着後、第1ゲート（ゴール側）から退場する。
ただし、4×100mリレーの第2・第3走者は、第4ゲート（第4コーナー）から、第1・第4走者は第1ゲート（第1コーナー）からそれぞれ退場すること。
- (2) フィールド競技
 - ① 競技場への入場は、トラック種目と同様とする。
 - ② 競技を終了した選手は、跳躍及び投てき競技役員の指示により最寄のゲートから退場する。

6 番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技者の走路順、跳躍、投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- (2) 準決勝・決勝のレーンは、主催者において公平に組合せの上、抽選して決定する。走路順は選手招集所付近に掲示する。
- (3) トラック競技の準決勝・決勝に進む α の決定について
 - ① 全競技、写真判定の記録順（1/100秒）による。
 - ② 予定された人数を上回って同記録がでた場合はすべて写真判定の記録の1/1000秒単位の詳細な着差判定を行う。それでも同着の場合は、800mまでの競走とリレー競走は抽選、1500m以上の競走においては、すべて次のラウンドに進める。ただし、レーンに余裕がある種目（100m、100mH、110mH）では同記録者の着差判定は行わず、次のラウンドに進めるようにする。ただし、レーンに不足がある場合は抽選とする。
- (4) フィールド競技は、測定標準記録を設けるが、気象条件等の特別な状況が生じた場合は、当該審判長の判断により変更することがある。

7 競技について

- (1) トラック競技
 - ① レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空けること。
 - ② 短距離走では、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）に沿って走り、他の走者の妨害をしないようにすること。
 - ③ 4×100mRの第2・3・4走者は、走路に自分で準備したマークを一ヶ所使用することができる。ただし、各チームはそのマークを、責任を持って撤去すること。
 - ④ リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。予選に出場したメンバーはその後のラウンドを通して、2人以内に限り他の競技者と交代することができる。また、リレー競技に出場するチームは同一のユニフォームで参加しなければならない。

※ 奨励種目だけにエントリーしている選手は、出場することはできない。
- (2) フィールド競技
 - ① 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者の用意したマークを2個まで置くことができる。

- ② 競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従うこと。指示以外の練習は認めない。
- ③ 三段跳の踏み切り板は男子11m地点、女子9m地点に設置する。
- ④ 棒高跳の公式練習は、ゴムバーで行う。

8 バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳の練習の高さ及びバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
走高跳 (男子)	1 m 6 0	1 m 6 5	1 m 7 0	1 m 7 5	1 m 8 0	1 m 8 5	1 m 8 8	1 m 9 1	+3 cm
	1 m 8 0								
走高跳 (女子)	1 m 3 0	1 m 3 5	1 m 4 0	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 3	1 m 5 6	1 m 5 9	+3 cm
	1 m 4 5								
棒高跳 (男子)	3 m 1 0	3 m 2 0	3 m 3 0	3 m 4 0	3 m 5 0	3 m 6 0	3 m 7 0	3 m 8 0	+1 0 cm
	3 m 7 0								
棒高跳 (女子)	1 m 5 0	1 m 6 0	1 m 7 0	1 m 8 0	1 m 9 0	2 m 0 0	2 m 1 0	2 m 2 0	+1 0 cm
	2 m 3 0								

- (2) 混成競技の走高跳については、申告のあった高さで一番低い高さから開始し、3 cmずつ上げる。
- (3) 第1位が同成績の場合は順位決定を行う。そのためのバーの上げ下げは、走高跳では2 cm、棒高跳では5 cmとする。(東北大会出場権を決定する場合においても同様とする)

9 測定標準記録について

- (1) フィールド種目の測定標準記録は次の通りとする。

ただし、天候その他特別な状況が生じた場合、変更することがある。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	6 m 1 0	1 2 m 1 0	9 m 0 0	2 5 m 0 0	2 0 m 0 0	3 6 m 0 0
女子	4 m 5 0	9 m 5 0	7 m 0 0	2 2 m 0 0	1 5 m 0 0	2 7 m 0 0

- (2) 競歩においては、男女ともに32分で最終周に入らない場合、競技を続行できない。

10 競技用器具について

競技に使用する器具は、主催者の準備したものを使用すること。ただし、棒高跳のポールは検定のうえ使用してもよい。なお、検定については、棒高跳のポールは跳躍場において競技開始までに行うこと。

11 表彰について

- (1) 男女総合・トラック競技・フィールド競技それぞれ3位まで表彰する。
- (2) 各種目第3位までの入賞者を表彰する。成績発表後、表彰控え室へ集合すること。
- (3) 表彰を受ける際、競技者はチームウェアを着用すること。

12 一般注意事項

- (1) 健康上で問題が生じる等、応急手当が必要な場合は、医務員に連絡すること。競技会場での疾病傷病等の応急手当は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 大会期間中の貴重品の管理は各自行う。盗難にあっても責任は負いかねる。
- (3) 集団応援はバックスタンド及び芝スタンドのみ許可する。ただし、フィールド種目の進行を妨げないこと。
- (4) 記録はその都度発表するが、随時大会結果速報を更新する。
- (5) 届けられた遺失物については、大会庶務係で保管する。

13 その他

- (1) 本大会に関して寄せられた個人情報、本大会の目的以外に使用することはありません。
- (2) 競技場で着用する衣類等の1品ごと製造会社のロゴを入れることができるが、その大きさは、上衣は面積30cm²・高さ4cm以内・下衣20cm²・高さ4cm以内とし、1か所とする。